

# 令和2年度 富士見市下水道事業会計予算（概要）

## 1 予算概要

### (1) 予算編成概要

下水道事業を取り巻く環境は、人口減社会の到来や利用者の生活様式の多様化、節水意識の定着やトイレなどの節水型機器の普及等により、長期的には主たる下水道事業収益の使用料収入の減少が懸念される。一方で、布設から長い年月が経過した管渠やポンプ施設等の老朽化が進んでおり、これらの施設の更新や耐震化に多大な費用が必要となるため、今後の経営状況はますます厳しいものとなることが見込まれる。

令和2年度の公共下水道汚水事業については、私道対策に伴う管渠築造工事と大字水子ほかの舗装本復旧工事等を実施するとともに南畑地区について引続き計画的に整備促進を図る。次に、公共下水道雨水事業については、鶴瀬駅西口土地区画整理事業地内の管渠築造工事と江川左岸第七ノ一号雨水幹線内の不法投棄等を防止するための開渠部蓋掛け工事を実施するほか、業務委託として別所雨水ポンプ場の施設更新設計や浸水対策の調査業務などを実施する。

今後も市民生活の安心・安全のため、都市環境の改善を図り、都市の健全な発展と公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資するため、計画的に整備を進めるとともに維持管理に努め、経費の削減はもとより、健全で効率的な経営を推進するための予算を編成した。

### (2) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は、前年度比3.8%増の18億8,972万円、支出は、前年度比2.0%増の15億6,706万6千円で、収支差引で3億2,265万4千円の黒字を見込んでいる。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は、前年度比5.5%減の8億8,623万6千円、支出は、前年度比4.7%減の16億9,635万円となり、収支差引では8億1,011万4千円の赤字が見込まれる。

### (3) 財源不足額

第4条予算の赤字分については、損益勘定留保資金等で補填する。

## 2 予算（収入）の主な特徴

### (1) 3条予算（収益的収入）

#### ○ 営業収益

下水道使用料は、普及率及び水洗化世帯戸数の増加は見込まれるものの、人口増加の鈍化や生活様式の多様化、節水意識の定着や節水型機器の普及等により世帯あたりの排水量が減少傾向にあり、前年度比0.6%減の10億425万2千円とした。

他会計負担金は、主に一般会計からの繰入金として、前年度比14.0%増の3億1,793万4千円とした。

その他の営業収益は、16万円とした。

○ 営業外収益

受取利息は、21万2千円。

他会計補助金は、1億9,000万円。

長期前受金戻入は、3億3,713万円。

雑収益は177万5千円。

消費税及び地方消費税還付金は、見込額として3,825万6千円とした。

○ 特別収益

過年度損益修正益は、1千円とした。

(2) 4条予算（資本的収入）

企業債は、前年度比0.2%増の7億4,010万円。

国庫(県)補助金は、前年度比17.0%減の7,937万円。

負担金は、受益者負担金及び他会計負担金として一般会計からの繰入金等を前年度比35.5%減の6,676万6千円とした。

### 3 予算（支出）の主な特徴

(1) 3条予算（収益的支出）

○ 営業費用

① 管渠費は、管渠等の維持管理に要する経費で、主に修繕費、工事請負費、委託料、負担金等で前年度比5.5%増の5億3,815万2千円とした。

【主な支出】

・維持管理、監視業務、保守点検等業務委託等	6,707万9千円
・ポンプ、その他修繕等	1,705万円
・人孔蓋取替、浚渫工事等	2,943万4千円
・荒川右岸流域下水道維持管理負担金	3億9,042万円

② 業務費は、使用料徴収業務等に要する経費で、前年度比3.8%増の4,793万円とした。

【主な支出】

・下水道使用料徴収事務委託等	4,159万7千円
----------------	-----------

③ 総係費は、下水道事業の総括的な経費で、前年度比9.3%増の3,633万1千円とした。

【主な支出】

・システム保守等業務委託等	584万2千円
・下水道協会負担金等	190万7千円
・貸倒引当金繰入額	388万3千円

④ 減価償却費は、構築物などの減価償却費として、8億886万4千円とした。

○ 営業外費用

① 支払利息は、前年度比14.5%減の1億3,131万7千円とした。

② 雑支出は、30万円とした。

○ 特別損失

① 過年度損益修正損は、55万円とした。

(2) 4条予算（資本的支出）

○ 建設改良費

① 建設総係費は、建設改良に伴う事務費等の経費で、前年度比18.7%増の8,320万2千円とした。

② 公共下水道建設事業費は、前年度比7.4%減の1億9,896万2千円とした。

【主な支出】

委託料 7,160万円

- ・別所雨水ポンプ場施設更新設計等業務委託
- ・浸水対策調査業務委託（別所・砂川堀排水区 他）
- ・下水道ストックマネジメント計画策定業務委託

工事請負費 9,695万円

- ・江川第4污水管渠築造工事
- ・江川左岸第七ノ一号雨水幹線改修工事
- ・公共下水道管渠築造工事（鶴瀬駅西口）
- ・舗装本復旧工事
- ・私道対策事業

③ 特定環境保全公共下水道建設事業費は、前年度比20.7%減の5億6,036万4千円とした。

【主な支出】

委託料 400万円

- ・実施設計業務委託等

工事請負費 5億2,480万円

- ・新河岸第14污水管渠築造工事
- ・新河岸第16-1-1污水管渠築造工事
- ・舗装本復旧工事

負担金 149万8千円

- ・公の施設の利用に伴う負担金（志木市）

④ 流域下水道事業費は、前年度比111.7%増の1億4,272万円とした。

【主な支出】

負担金 1億4,272万円

- ・荒川右岸流域下水道事業建設負担金

○ 償還金

企業債償還金は、前年度比1.2%減の7億1,010万2千円とした。

- ・公共下水道償還金 4億5,489万7千円
- ・流域下水道償還金 9,245万9千円
- ・特定環境保全公共下水道償還金 1億4,132万4千円
- ・資本費平準化償還金 2,142万2千円

企業債の令和2年度末未償還残高は、80億4,834万円となる見込みである。

■ 令和2年度富士見市下水道事業会計予算

収益的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
下水道事業収益			1,889,720	69,252
営業収益			1,322,346	32,635
下水道使用料			1,004,252	△ 5,668
他会計負担金			317,934	38,968
その他の営業収益			160	△ 665
営業外収益			567,373	36,617
受 取 利 息			212	△ 165
他会計補助金			190,000	0
長期前受金戻入			337,130	8,814
雑 収 益			1,775	1
消費 税 及 び 地方消費税還付金			38,256	27,967
特別利益			1	0
過年度損益修正益			1	0

支出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
下水道事業費用			1,567,066	30,411
営業費用			1,434,399	52,675
管 渠 費			538,152	27,911
業 務 費			47,930	1,735
総 係 費			36,331	3,100
水洗化促進費			270	0
減 価 償 却 費			808,864	17,077
資 産 減 耗 費			2,852	2,852
営業外費用			131,617	△ 22,274
支 払 利 息			131,317	△ 22,274
雑 支 出			300	0
消費 税 及 び 地 方 消 費 税			0	0
特別損失			550	10
過年度損益修正損			550	10
予 備 費			500	0
予 備 費			500	0

■ 令和2年度富士見市下水道事業会計予算

資本的収入及び支出

収入 (単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
資	本	的 収 入	886,236	△ 51,611
	企	業 債	740,100	1,300
		企 業 債	740,100	1,300
	国	庫(県)補助金	79,370	△ 16,250
		国 庫(県)補助金	79,370	△ 16,250
	負	担 金	66,766	△ 36,661
		負 担 金	66,766	△ 36,661

支出 (単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
資	本	的 支 出	1,696,350	△ 82,946
	建	設 改 良 費	985,248	△ 74,118
		建 設 総 係 費	83,202	13,087
		公 共 下 水 道 費	198,962	△ 15,920
		特 定 環 境 保 全 公 共 費	560,364	△ 146,592
		下 水 道 建 設 事 業 費		
		流 域 下 水 道 事 業 費	142,720	75,307
		固 定 資 産 購 入 費	0	0
	償	還 金	710,102	△ 8,828
		企 業 債 償 還 金	710,102	△ 8,828
	予	備 費	1,000	0
		予 備 費	1,000	0